

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2025 年 11 月)

研究発表会のお知らせ

2025 年度、第 3 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : **2025 年 11 月 17 日(月) 午前 11 時 00 分～**

参加方法 : 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。

Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。

ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 : **宮本 めぐみ 先生 (外国語学部 中国語学科)**

題 目 : **倉石武四郎の「ラテン化新文字による」中国語教育と謝冰心**

概 要 : 本発表は倉石武四郎著『ラテン化新文字による中国語初級教本』(1953 年)とその本文の音声を収録したレコードについて紹介するものである。この教本は日本人が苦手とする中国語の発音の修得に重点を置き、本文をラテン化新文字(ローマ字)で表記し、声調(声の高低・強弱)を波状の線で示すという新しい試みを取り入れられている。レコードの音声の吹き込みには著名な作家謝冰心とその娘たち、友人たちが参加しており、倉石と謝冰心の交流の一端を示す資料でもある。

②発表者 : **趙 丹楠 先生 (語学教育研究所 特別研究員)**

題 目 : **依頼表現のポライトネスにおける中国人日本語学習者の選択**

概 要 : 本研究では、日本語母語話者(JJ)と中国人日本語学習者(CJL)が使用する依頼表現のポライトネスの度合いを5段階評価で考察した。その結果、①丁寧度の幅で見ると、JJはCJLより大きいこと。②全体の平均値で見ると、CJLはJJより丁寧度が高い依頼表現を使用していること。③特に「クラスメート」と「後輩」に対して、CJLはJJより丁寧度が高いこと。④CJLは過剰に丁寧な表現を使用することから、使用上の過剰一般化の現象が見られた。

以上

[問い合わせ先] 語学教育研究所 E-mail : daitogoken@gmail.com